



松田権六の仕事場

関連資料展示

会期 2024.12.17-2025.2.24

松田権六の道具

左ケース

- 1：鯨篋（くじらべら）
- 2：中尊寺金色堂の解体修理の時に出てきた平安時代の刷毛を模して作られた刷毛
- 3：檜の皮で作った篋
- 4：上塗り専用の刷毛
- 5：地塗り専用の刷毛
- 6：細く塗るための刷毛
- 7：小刷毛
- 8：あしらい毛棒（けぼう）・・・蒔絵粉を扱うための筆の一種
- 9：鼈甲製の蒔絵筆用の洗い篋
- 10：大小の針金で作られた「引掻き」用筆
- 11：ぶんまわし・・・コンパス
- 12：犬牙（けんき）・・・柄の先に犬の牙を取り付けた道具
- 13：鯛牙（たいぎ）・・・柄の先に鯛の牙を取り付けた道具
- 14：各種蒔絵筆
- 15：粉筒（ふんづつ）
- 16：塗師刀（ぬしがたな）
- 17：槍鉋（やりかんな）
- 18：彫刻刀や各種の切出小刀

遺愛の品々

- 19：フェルト帽
- 20：腕時計
- 21：筆記用具
- 22：眼鏡

粉筆筒の引出

中央ケース

- 23：粉鎮（ふんちん）
・・・蒔絵用の金銀粉を入れた粉包みを押さえるために用いる重し
- 24：粉匙（ふんさじ）・・・蒔絵用の金銀粉をすくうのに用いる小さじ
- 25：鳥軸製粉筒
- 26：爪盤（つめばん）・・・蒔絵を描く際に漆をのせておく小さなパレット
- 27：あしらい毛棒
- 28：払い毛棒

松田権六と工芸作品にみる反復と偶然

中央ケース

- 29：松田権六《竹文椀》1967年
- 30：松田権六《獅子蒔絵香盒》1916年
- 31：松田権六《渚蒔絵松棗》1960年
- 32：松田権六《鳶老木棗》1985年
- 33：松田権六《蒔絵螺鈿有職文篋》1960年

右ケース

- 34：十二代今泉今右衛門《色鍋島緑地更紗文八角大皿》1974年
- 35：佐藤省州《網代貼砧角形茶入》1966年
- 36：音丸耕堂《堆漆紅梅香合》1969年頃
- 37：田口善国《森の空蒔絵大棗》1983年
- 38：山口松太《油忝堆錦錦秋短冊箱》2020年

蒔絵で使われる素材

- 39：夜光貝
- 40：貝の真珠層部分を薄くはいだもの
- 41：アワビ
- 42：メキシコアワビ
- 43：卵殻（ウズラ）
- 44：象牙
- 45：平文用の各種素材